



- 1 やすおさん、ようこさんとお兄さんのたかしさんが桜美林中学校のパンフレットを見ながら話をしています。〔会話文〕を読み、〔資料〕を見てあとの(1)～(5)の各問いに答えましょう。

〔会話文1〕

やすお 「中学校になったらどの部活動に入部しようかな。」

たかし 「桜美林中学校にはいろいろな部活動があるよ。〔資料1〕はある年の桜美林中学校の部活動のそれぞれの部員数と全国の中学校の部活動ごとの平均部員数と設置率をまとめた表だよ。部活選びの参考にしてみよう。」

ようこ 「〔資料1〕を見てみると全国の表にはなくて桜美林中学校にはある部活動が4つあるのね。」

たかし 「部活動は、学校によって独自のものもあるんだよ。」

やすお 「いろいろあって選ぶのが大変だなあ。部活動をやるなら運動部がいいかな。それに人数がたくさんいる部活動もいいかな。」

ようこ 「どうして人数が多い運動部に興味があるの？」

やすお 「部活動で友達と楽しく活動したいんだよ。体を動かすのも好きだから、人数が多い運動部の方が、友達もできやすいかなって思っているんだ。」

たかし 「そうなんだね。もう少し見比べながら部活動の様子をみてみよう。」

- (1) 〔会話文1〕と〔資料1〕〔資料2〕から読み取れることとして、正しいものを次のア～エの中から1つ選び、記号で答えましょう。

- ア 全国の中学校の文化部のなかで最も高い設置率の部活動は、運動部を合わせた部活動全体でも3番目に高い設置率である。
- イ やすおさんが部活に所属したいと思う理由は、全国の私立中学校の運動部の生徒が部活に所属している目的で、一番多いものと同じである。
- ウ 桜美林中学校で部員数が一番多い部活動は、全国の中学校の平均部員数が一番多い部活動と一致している。
- エ 桜美林中学校の3分の1以上の部活動が、全国の平均部員数を上回っている（桜美林中学校にはあるが、全国平均にはない部活動は計算にふくめないものとする）。

〔資料1〕 桜美林中学校の部活動と部員数・全国の中学校の部活動と平均部員数と設置率

	部活動	桜美林	全国	
		部員（人）	平均部員数（人）	設置率（%）
運 動 部	野球	21	21	81.9
	ソフトテニス	76	28.8	74.8
	バレー	23	19.2	84.4
	剣道	32	16.2	59.6
	サッカー	24	30.2	68.8
	陸上	36	32.5	67.9
	バスケットボール	37	23.4	84.2
	卓球 <small>たつきゅう</small>	24	29.5	75.0
文 化 部	科学	13	18.9	15.8
	ハンドベル	7	—	—
	IFC※	10	—	—
	華道	3	7.6	3.3
	茶道	13	8.7	16.5
	美術	9	21.4	58.5
	書道	8	11.4	5.1
	吹奏楽	28	37.4	76.1
	合唱	4	19.7	17.2
	漫画研究 <small>まんが</small>	6	11	1.6
	CYA※	11	—	—
	Hand Made※	7	—	—
	文芸	2	10.3	5.1

※IFC部 海外からの留学生とのイベントに向けてポスター作りなど準備や交流会を行う。

※CYA部 キリスト教に親しみながら、キリスト教行事やボランティア活動を行う。

※Hand Made部 手芸・さいほうを中心に、手作りが好きな部員たちが、思い思いに製作に取り組む。  
行事に合わせて、料理やおかしづくりなどもおこなう。

（スポーツ庁 「運動部活動等に関する実態調査報告書」平成29年 より作成）

〔資料2〕 全国の私立中学校の生徒が部活動に所属している目的

	私立中学校運動部所属 (%)	私立中学校文化部所属 (%)
大会・コンクール等でよい成績を取る	25.5	8.6
チームワーク・協調性・共感を味わう	14.3	10.6
体力・技術を向上させる	28.6	16.1
友達と楽しく活動する	16.7	37.1
部活動以外に取り組めるものがない	0.6	0.8
学校以外に活動場所・施設 <small>しせつ</small> がない	0.4	1.0
その他の目的	4.5	11.1
特にない	6.7	12.5
無回答	2.6	2.3

(スポーツ庁 「運動部活動等に関する実態調査報告書」平成29年 より作成)

〔会話文2〕

- やすお 「桜美林高校の部活動だと、野球が有名だよな。」
- ようこ 「在学中に甲子園で行われている野球の全国大会に応援に行けたらいいな。」
- たかし 「1976年には甲子園で優勝しているんだよ。すごいよね。」
- ようこ 「全国の強い学校に勝っていったのね。」
- たかし 「全国大会に出る前に東京にもたくさん強い学校があるから、予選を勝ちぬくだけでも大変だよ。」
- ようこ 「そんなに強い学校があって競い合っているっていうことは、東京の代表は甲子園でもたくさん勝っているのかしら。」
- やすお 「調べてみよう。」
- ようこ 「都道府県ごとの甲子園の勝利数と学校数をあつめた〔資料3〕をみつけたわ。」
- やすお 「勝利数を見ると大阪府が一番だね。」
- ようこ 「予選では東京は東東京と西東京に分かれているけど、この表では合わせた数になっているのね。どうして東と西に分かれているの？」
- たかし 「学校数が多いからだよ。」
- ようこ 「たくさんの高校がある都道府県を勝ちぬいた高校は、甲子園でもたくさん勝っているのかしら。」
- やすお 「〔資料3〕を見てみると、高校が200校以上ある都道府県は6つあるよ。甲子園で300勝以上している都道府県のは数は4つで、その4つとも高校の数は200校を超えているよ。高校が多い都道府県は、甲子園での勝利数も多いみたいだね。」
- ようこ 「逆はどうなのかしら？ 高校の数が少ない都道府県は甲子園での勝利数も少ないのかしら。」
- やすお 「そうとも言いきれないみたいだよ。例えば、高校の数が50校に満たなくても、甲子園で150勝以上している都道府県では  と  の2つがあるよ。」
- ようこ 「高校数が少なくても代表が甲子園でたくさん勝っている都道府県もあるのね。」
- やすお 「そのなかで高校1校当たりの勝利数を計算してみると、勝利数が一番多い大阪府に隣接している  が一番になるよ。高校1校当たり  勝していることになるよ。」

(2) 〔会話文2〕について、下の問いに答えましょう。

- I  ・  に当てはまる都道府県名をそれぞれ書きましょう。
- II  に入る数字を書きましょう。数値は小数点第2位の数字を四捨五入した小数点第1位までの数値で書きましょう。

〔資料3〕 都道府県別甲子園勝利数, 都道府県別高校数

地方	都道府県	甲子園勝利数 (勝)	高校数 (校)
北海道・東北	北海道	118	272
	青森県	62	77
	岩手県	56	79
	宮城県	105	95
	秋田県	60	52
	山形県	37	61
	福島県	45	108
関東	茨城県	82	119
	栃木県	100	75
	群馬県	106	77
	埼玉県	114	193
	千葉県	141	181
	東京都	309	429
	神奈川県	209	231
北陸	新潟県	31	101
	富山県	37	53
	石川県	62	56
	福井県	93	35
中部	山梨県	67	43
	長野県	85	99
	岐阜県	141	81
	静岡県	143	138
	愛知県	304	220
	三重県	62	70
近畿	滋賀県	57	56
	京都府	206	111
	大阪府	382	254
	兵庫県	315	205
	奈良県	147	59
	和歌山県	230	47
中国	鳥取県	58	32
	島根県	42	47
	岡山県	109	86
	広島県	210	129
	山口県	113	78
四国	徳島県	139	37
	香川県	130	40
	愛媛県	188	65
	高知県	188	46
九州・沖縄	福岡県	152	164
	佐賀県	44	45
	長崎県	67	79
	熊本県	105	73
	大分県	83	55
	宮崎県	69	51
	鹿児島県	95	89
沖縄県	100	63	

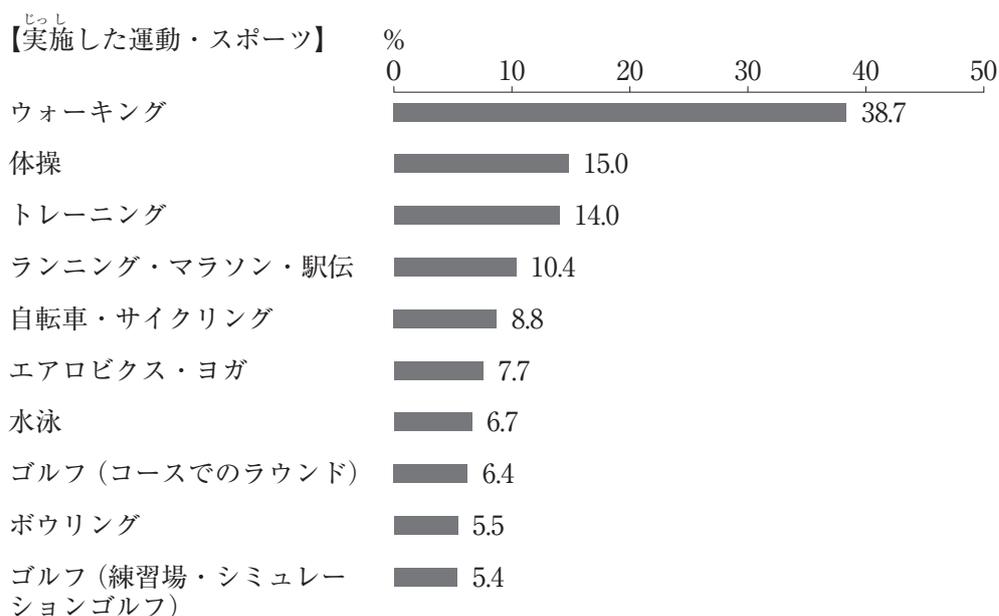
(甲子園勝利数 朝日新聞 朝日放送テレビ 「バーチャル甲子園」2023年度 より作成)

(高校数 文部科学省 「高等学校数」令和5年度 より作成)

〔会話文3〕

やすお 「全国の中学校の平均で部員数が一番多い運動部は何だろう？」  
 ようこ 「陸上部だよ。入ろうかなって思っている部活の1つよ。」  
 やすお 「走ることは多くの人にとってとても身近なスポーツだよ。」  
 ようこ 「一人でもできるし、場所もあまり選ばないから、ずっと続けていけるスポーツだと思うの。」  
 やすお 「年れいが上がってきたら、ウォーキングもいいかもしれないね。」  
 たかし 「その通りだね。〔資料4〕を見ると、ウォーキングは最も多くの大人がやっているスポーツだよ。」  
 やすお 「本当だ。ウォーキングは外で行う運動だから夏とかの暑い日は大変だよ。暑い地方のほうがウォーキングをする人の率は少ないのかな。」  
 ようこ 「それについてのデータを見てみると、人口100人当たりのウォーキング率が一番低い地方は北海道・東北地方なのよ。」  
 やすお 「そうなんだね。全国のなかでもすずしい北海道・東北地方のウォーキング率が低いのはどうしてだろう。」

〔資料4〕 25歳以上の人がこの1年間に行った運動・スポーツの種目（上位の種目のみ）



（スポーツ庁 スポーツの実施状況等に関する世論調査 2016年 より作成）

- (3) 北海道・東北地方が人口100人当たりのウォーキングをする人の率が低い理由として、2人は天候のデータに注目して〔資料5〕を作ってみました。

〔資料5〕ウォーキング人口と天候との関係

地方	都道府県	人口100人当たり ウォーキング人口 (人)	年間降雪日数 (日)	年間晴れ日数 (日)
北海道・東北	北海道	36.9	124.4	199.3
	青森県	33.3	119.5	167.0
	岩手県	34.7	111.0	203.0
	宮城県	40.8	65.6	220.1
	秋田県	35.2	108.9	153.4
	山形県	32.8	105.7	179.8
	福島県	37.0	87.0	210.9
	全国平均	39.7	40.7	212.3

年間降雪日数と年間晴れ日数は過去30年間の平均から算出した日数です。

(ウォーキング人口 総務省統計局「平成28年社会生活基本調査結果」より作成)

(年間降雪日数, 年間晴れ日数 国土交通省「気象庁データ 2020年度」より作成)

- I 〔資料5〕の北海道・東北地方のウォーキング率の低さは「年間降雪日数」と「年間晴れ日数」のどちらと関係があると考えられますか。関係があると考えられるものを○で囲みましょう。
- II Iの答えを選んだ理由を、いくつかの道県名を書いて説明しましょう。

〔会話文4〕

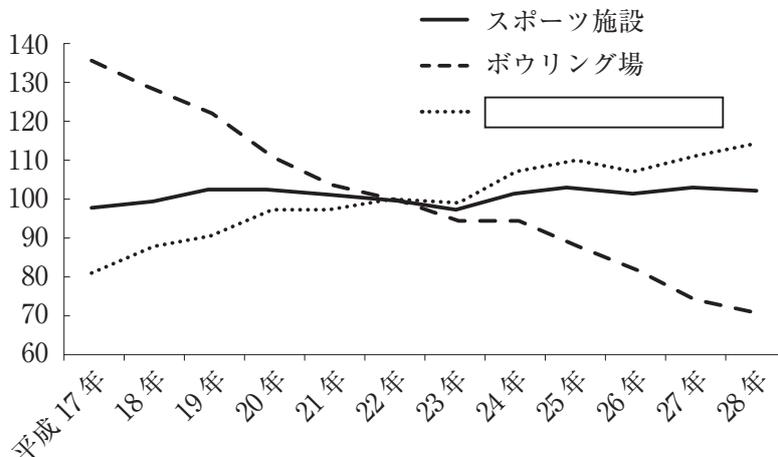
やすお 「スポーツをやるには、時間も必要だけど環境の整備も必要になるよね。」  
ようこ 「環境の整備って、具体的はどんなことなのかしら。」  
たかし 「例えば、スポーツ施設を増やしていくことだよ。施設を増やすことでスポーツをする機会も増えていくんじゃないかな。」  
やすお 「近年はどんな種類のスポーツ施設が増えてきているんだろう。」  
ようこ 「屋内スポーツ施設の数の変化を示した〔資料6〕のグラフが参考になりそうよ。」  
やすお 「これを見るとボウリング場は減ってきているんだね。増えてきている□□はどんな施設だろう。」  
たかし 「資料を参考にして考えてみよう。」

(4) 〔資料4〕・〔資料6〕を参考にして、近年増えてきている屋内スポーツ施設について考えてみましょう。

I □□に入る、近年増えてきていると考えられるスポーツ施設を書きましょう。

II その施設が増えてきている理由について自分の考えを書きましょう。

〔資料6〕 屋内スポーツ施設数の変動



資料：第3次産業活動指数（経済産業省）

このグラフは平成22（2010）年を100として、施設の数が増減を表しています

（経済産業省ホームページより作成）

〔会話文5〕

ようこ 「国はスポーツを推進していくために2015年にスポーツ庁を設立したのよね。」

たかし 「そうなんだよ。スポーツ政策として、2017年には『第2期スポーツ基本計画』というのが出されているよ。」

ようこ 「どんな計画なの？」

たかし 「これによると成人の週1回以上のスポーツ実施率を42.5%（2016年度調査）から、65%程度とする目標がかかげられているよ。スポーツに親しむ人を約2000万人増やすという計画だよ。」

やすお 「かなり大変な計画だね。ただスポーツをしましょう、と呼びかけるだけではスポーツをする人は増えていかないような気がするけど。」

たかし 「そうだね。いろいろな人たちと協力して計画を進めているみたいだよ。」

ようこ 「どんな人たちに協力を求めているの？」

たかし 「例えば、日本医師会というお医者さんの団体にも計画への協力を求めているよ。」

ようこ 「<sup>いりょう</sup>医療からの働きかけでスポーツをする人が増えることってあるのかしら。」

たかし 「〔資料7〕を見てみよう。これは、<sup>かんせんしょう</sup>感染症以外の死亡原因を示しているグラフだよ。」

やすお 「運動不足が原因で体を悪くして死亡してしまった人ってたくさんいるんだね。」

ようこ 「スポーツをすると健康に過ごすことができるっていうことね。」

たかし 「多くの人があることは分かっていると思うけど、いろんな事情でスポーツをすることができていない人もいるんだよ。〔資料8〕は、男女それぞれの年代別のスポーツができない理由をまとめた表だよ。」

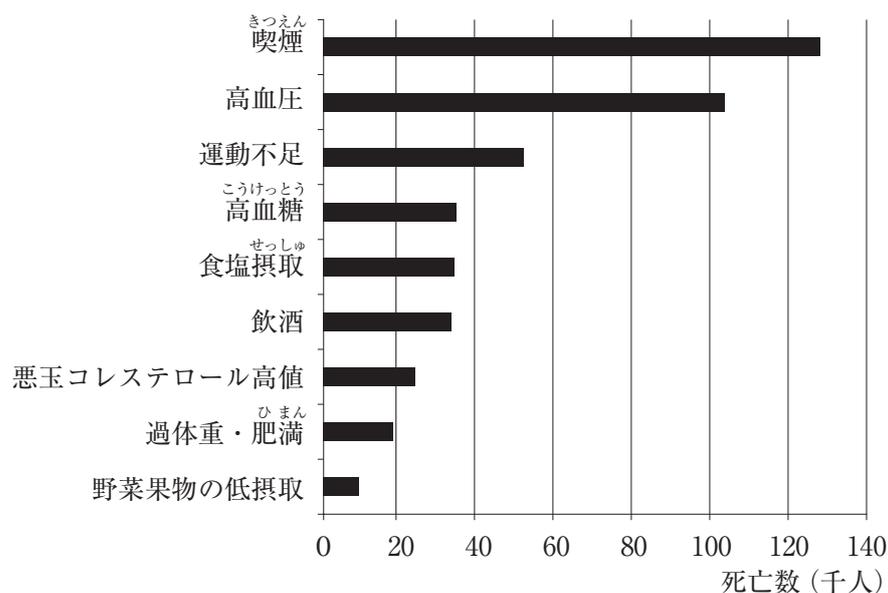
やすお 「これを<sup>ぶんせき</sup>分析していろいろと働きかければ、スポーツをする人を増やすことができるかもしれないね。」

ようこ 「スポーツをする人が増えることで、私たちの生活により効果が広がっていきそうね。」

やすお 「どんなことができるのか考えてみよう。」

- (5) スポーツ実施率の向上は、私たちの生活により効果をうむことが期待されています。スポーツ実施率をあげるために、あなたならどのような人たちにどのような働きかけをしていきますか。〔資料7〕・〔資料8〕を参考にして、理由とあわせて書きましょう。

〔資料7〕 感染症以外の死亡者と死亡した要因



(厚生労働省 健康日本21 (第二次) について 平成22年 より作成)

〔資料8〕 スポーツをする回数が減っているもしくは増やせない理由

	仕事や家事が忙しいから	めんどくさいから	年をとったから	お金に余裕がないから	運動・スポーツがさらいだから	病気やけがをしているから	場所や施設がないから	生活や仕事で体を動かしているから	仲間がいないから	子どもに手がかかるから	運動・スポーツ以上に大切なことがあるから	指導者がいないから	その他	特に理由はない	わからない
全体	32.8	24.0	15.9	14.2	10.0	7.8	7.4	7.2	7.1	6.4	6.4	1.6	2.5	22.2	5.6
男性 10代	30.5	23.3	2.2	17.5	9.0	3.6	16.1	2.2	19.7	1.3	14.8	6.7	4.5	16.1	6.3
男性 20代	36.8	20.7	4.1	14.8	7.1	4.1	9.1	4.1	9.0	2.9	9.7	2.1	1.0	21.7	9.0
男性 30代	41.7	21.7	6.2	12.9	6.7	4.9	7.2	4.3	7.1	9.9	5.0	0.9	1.3	21.2	7.5
男性 40代	42.4	21.7	11.4	14.8	7.1	5.2	5.7	4.2	5.5	6.5	4.8	1.2	1.0	22.9	7.7
男性 50代	38.2	21.7	19.3	13.4	5.4	9.5	7.6	5.9	6.3	1.6	4.9	1.2	1.3	24.2	5.5
男性 60代	17.9	19.7	26.5	9.3	5.6	9.3	5.3	7.7	6.0	0.5	5.5	1.2	3.1	31.2	6.1
男性 70代	7.0	12.3	36.6	6.1	2.4	12.3	3.3	7.8	5.5	0.0	5.6	1.2	3.9	35.7	5.3
女性 10代	30.9	40.8	3.6	17.9	18.8	2.7	17.5	5.4	12.1	1.3	17.9	4.9	4.9	13.0	5.8
女性 20代	44.8	33.6	3.1	23.1	15.3	4.3	12.2	4.6	10.9	14.9	7.6	1.9	2.9	11.1	7.1
女性 30代	43.8	33.5	6.2	20.4	16.3	4.9	10.1	4.8	8.3	25.1	6.2	1.9	1.9	11.3	5.9
女性 40代	44.1	35.8	11.7	19.8	17.2	8.6	8.4	7.2	6.7	12.1	6.1	1.2	2.1	15.1	3.1
女性 50代	37.7	28.1	15.8	17.6	15.9	9.9	7.1	10.0	7.3	2.9	7.0	1.8	3.1	19.2	3.1
女性 60代	22.2	21.2	21.8	9.7	11.0	10.6	6.2	13.2	6.2	0.6	6.5	1.8	4.2	26.3	3.7
女性 70代	11.0	11.4	36.8	6.8	6.6	10.8	4.7	11.8	4.2	0.3	5.5	1.5	3.9	30.6	4.2

値は%

(スポーツ庁 スポーツの実施状況等に関する世論調査 2016年 より作成)

- 2 さくらさん、はやしさん、たろうさんと先生が話をしています。〔会話文〕を読み、〔資料〕を見て、あとの(1)～(6)の各問いに答えましょう。

〔会話文1〕

先生 「みなさんは、冬休みにどんなことをしましたか？」

さくら 「私はイギリスへの短期留学のプログラムに参加しました。色々な観光地もめぐることができて、旧グリニッジ天文台にも行きました。世界の時間の基準となっている本初子午線が通る場所へ実際に行くことができて、感動しました。」

はやし 「本初子午線は授業でも習ったよね。確か、経度0度が通る線だったかな？」

先生 「よく覚えていますね。〔資料1〕のように、経度は本初子午線を基準に、東側と西側にそれぞれ180度ずつ分けた角度のことをいいます。また、同じ経度を結んだ線を経線といい、本初子午線から東側を東経、西側を西経と表します。」

はやし 「地球はほぼ24時間で360度回転しているので、経度が①度ちがうと、1時間の時差が生じるということですね。」

先生 「その通りです。日本は兵庫<sup>ひょうご</sup>県<sup>けん</sup>明石<sup>あかし</sup>市を通る東経135度が国の時刻を決める基準となっていて、さくらさんが訪れたイギリスは本初子午線が基準となっています。この場合、日本とイギリスの時差は何時間あるのでしょうか？」

たろう 「はい、日本とイギリスの時差は②時間で、日本の方がイギリスよりも時間が進んでいます。」

はやし 「そういえば、この冬にアメリカのハワイへ家族旅行に行ったのですが、不思議なことがありました。チケット〔資料2〕を見てください。12月30日(土)22:00に東京を出発したのですが、ハワイに到着<sup>とうちやく</sup>した時の現地の時刻は12月30日(土)10:00でした。」

先生 「それは太平洋上に設けられている日付変更線<sup>ひづけへんこうせん</sup>をこえたからですね。経度①度ごとに1時間ずつ時差を設けながら地球を1周すると、24時間の時差が生まれます。このとき時刻は同じでも日付は1日ちがうことになるので、日付変更線を設けて日付の調整をしているのです。ちなみに、日本とハワイの時差は19時間で、日本の方が時間が進んでいます。」

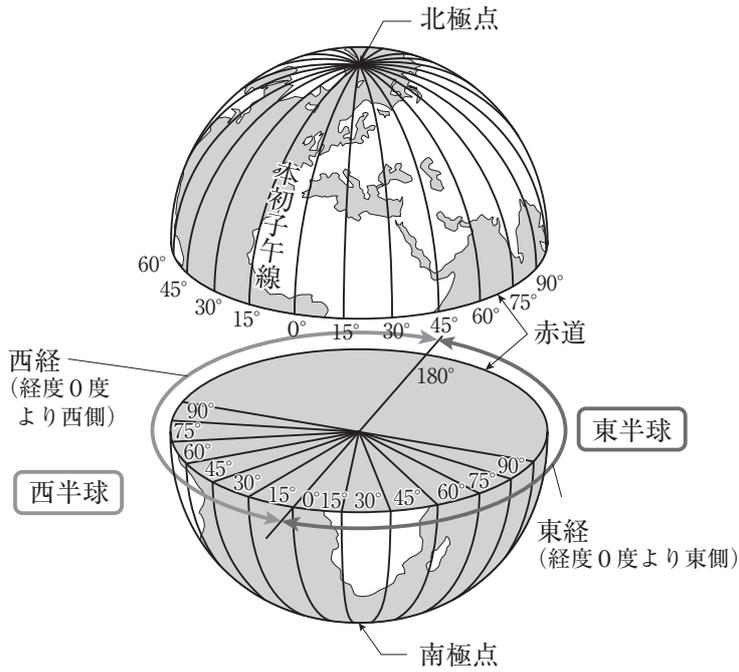
さくら 「私がイギリスに行く際は、12時間ほど飛行機に乗っていました。はやしさんはハワイに行く際に何時間くらい飛行機に乗っていたの？」

はやし 「ごめん、よく覚えていないや。」

先生 「出発時刻と到着時刻がわかっているので、時差を使えばわかりますよ。」

はやし 「そうか！ 日本とハワイの時差は19時間だから、飛行時間は③時間ということですね。」

〔資料1〕 経度のしくみ



〔資料2〕 はやしさんの飛行機チケット

出発地：東京	成田国際空港	12月30日（土）22:00	発
到着地：ハワイ	ホノルル国際空港	12月30日（土）10:00	着

（注）出発時刻，到着時刻ともに現地時刻で示している。

（1）〔会話文1〕の ① ～ ③ にあてはまる数字を答えましょう。

〔会話文2〕

はやし 「たろうさんは、この冬にどこかへ行ったの？」

たろう 「この冬は、<sup>しんせき</sup>親戚が住んでいるオーストラリアのシドニーに行ったよ。日本とはちがって、オーストラリアの12月は夏だから、気温が高くておどろいたよ。」

さくら 「そういえば、北半球と南半球では季節が反対になると授業でも習ったよね。同じ12月なのにおもしろいわね。」

先生 「地域によって、気候は大きく異なります。世界の様々な地域の気候を知るには、雨温図を見るとよいですよ。」

はやし 「雨温図とは、どういうものですか？」

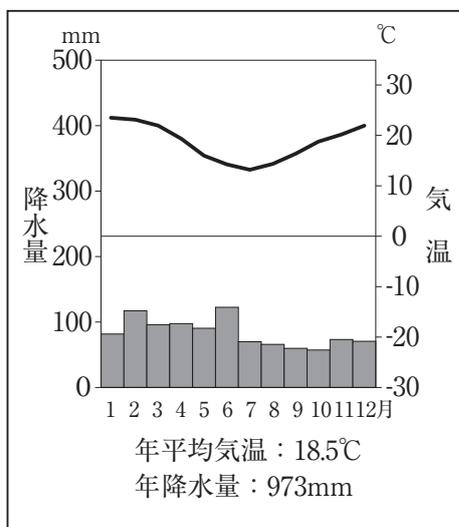
先生 「〔資料3〕を見てください。これが雨温図というもので、折れ線グラフは気温を、縦棒グラフは降水量を表しています。」

さくら 「雨温図を見ると、季節に応じた気温や降水量の変化がよくわかりますね。」

たろう 「私が行ったオーストラリアの中でも、北部のダーウィンという町は赤道に近いので、1年を通じて気温が高いそうです〔資料4〕。同じ国の中でも、<sup>かんきょう</sup>環境に合わせて衣食住が大きく異なるそうです。」

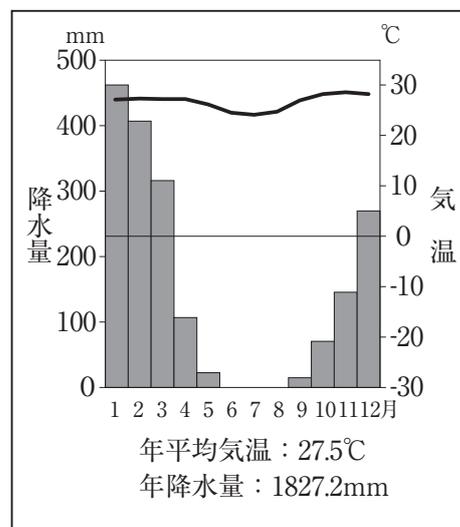
はやし 「それぞれの国や地域を理解する上では、気候にも注目することが大切なのですね。」

〔資料3〕 シドニーの雨温図



(気象庁ホームページより作成)

〔資料4〕 ダーウィンの雨温図



(気象庁ホームページより作成)

- (2) 以下の3人の出身地の紹介文を読んで、それぞれの出身地の雨温図として正しいものを次のページのア～カより選び、記号で答えましょう。

タンさん

出身地：マレーシア クアラルンプール

紹介文：私の国では1年を通して気温が高く、季節による気温の変化が少ないです。また1年中雨が多く、植物がよく成長して熱帯雨林が広がっています。気温があがった日の午後には、短い時間ですがスコールと呼ばれる激しい雨が降ります。

フィリップスさん

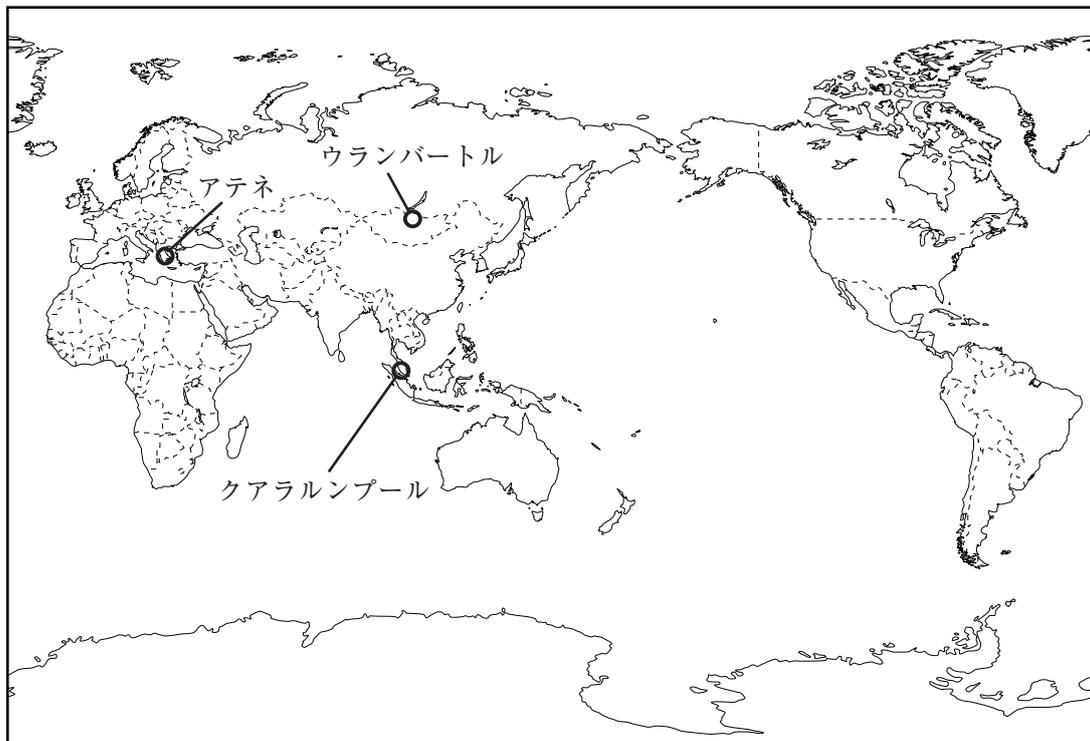
出身地：ギリシア アテネ

紹介文：私の国では1年を通して比較的温暖ですが、季節のちがいははっきりしていて、夏は日照時間が長くて雨が少なく乾燥します。そのため、夏の間の乾燥にたえられるオリーブやブドウなどが盛んに栽培されています。一方で、冬には降水量が多くなります。

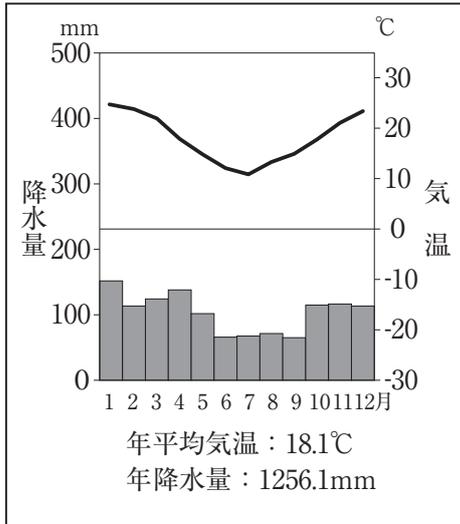
サルヒさん

出身地：モンゴル ウランバートル

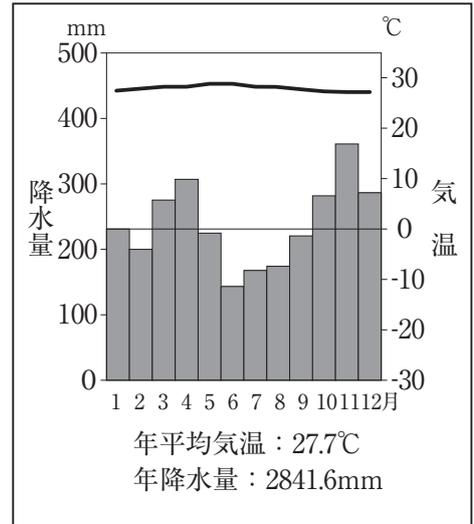
紹介文：私の国では1年を通して降水量がとて少なく、夏の時期を中心に少量の雨が降ります。農業には適していないため、乾燥に強い羊やヤギなどの家畜を飼っています。また冬には気温が大きく下がるので、家畜の毛や皮は衣服の材料にも利用します。



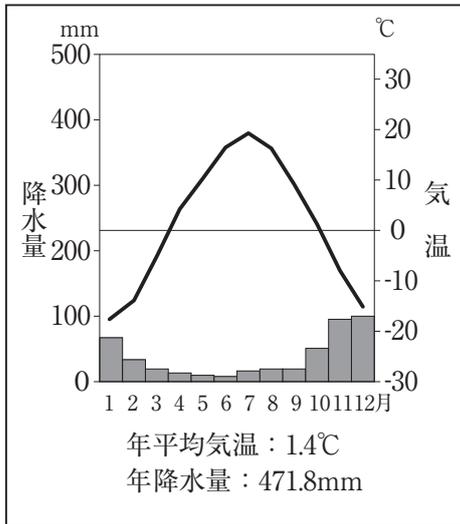
ア



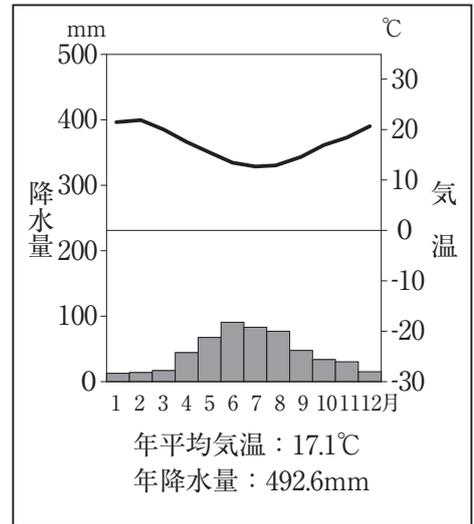
イ



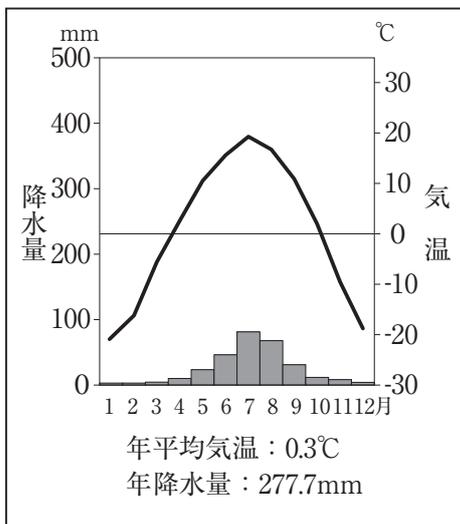
ウ



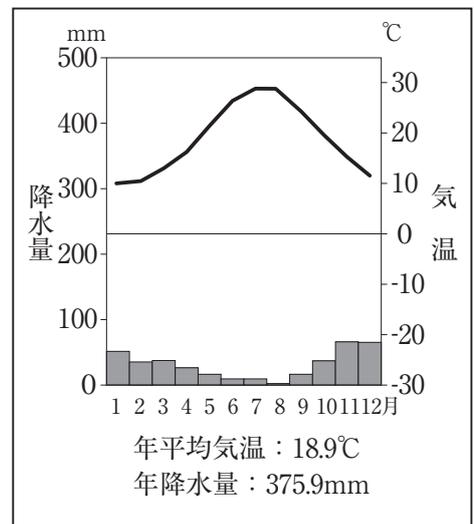
エ



オ



カ



〔会話文3〕

はやし 「それにしても、去年の夏は特に暑かったね。連日の猛暑日<sup>もうしょび</sup>で大変だったよ。」

たろう 「ニュースを見ていると、猛暑以外に大雨などの自然災害のニュースも多かったし、異常気象という言葉もよく耳にしたよね。」

先生 「近年は異常気象が以前より多く発生するようになっていて、こうした気候変動にどのように取り組んでいくのかが、国際的にも重要な課題とされています。」

さくら 「どうして、このような気候変動がおこるようになったのですか？」

先生 「気候変動には様々な要因があると考えられていますが、その1つが温室効果ガスです。温室効果ガスには様々な種類があり、有名なのは二酸化炭素です。」

たろう 「二酸化炭素はどのようにして排出<sup>はいしゅつ</sup>されるのか、調べてみよう！」

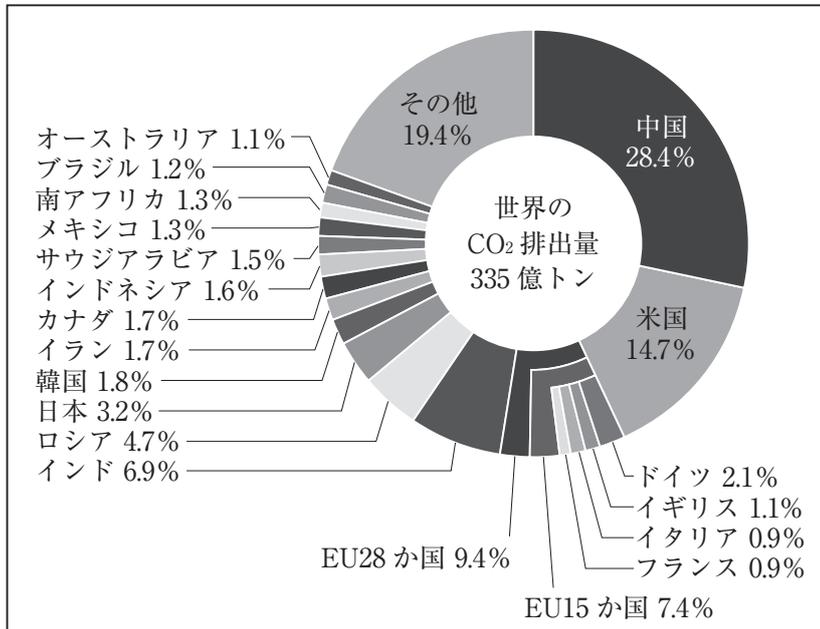
さくら 「調べた結果、〔資料5〕～〔資料7〕が見つかりました。〔資料5〕を見ると、世界中のどのような国や地域から二酸化炭素が多く排出されているかがわかりますね。」

はやし 「授業で習った、京都議定書やパリ協定も気候変動への対策を目的としたものでしたよね。」

先生 「そうですね。京都議定書とパリ協定は温室効果ガスの排出量の削減<sup>さくげん</sup>目標を定めた国際的な枠組み<sup>わくぐみ</sup>で、1997年に京都議定書が、2015年にパリ協定が採択<sup>さいたく</sup>されました。パリ協定は京都議定書を引きつぐ形で作られたものですが、変更点がありましたね。どのような変更があったのか、覚えていますか？」

〔資料5〕世界の国別二酸化炭素排出量

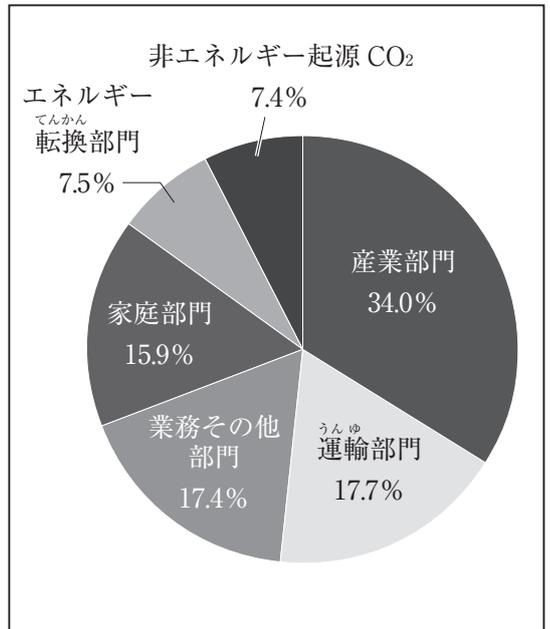
(2019年)



(環境省ホームページより)

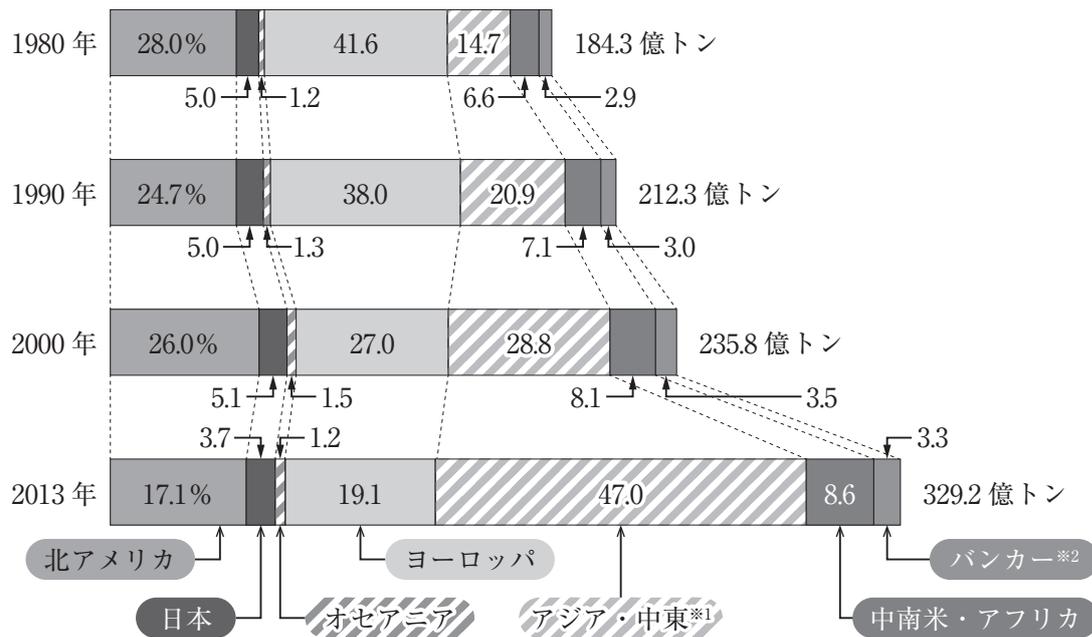
〔資料6〕日本の二酸化炭素分野別排出割合

(2020年)



(環境省ホームページより)

〔資料7〕 地域別二酸化炭素排出量の推移（グラフ内の数値はその年の割合です。）



※1 日本はふくまない。 ※2 国家間を往復する航空機や船舶が排出するCO<sub>2</sub>。

(経済産業省ホームページより作成)

(3) たろうさん、さくらさんが、〔資料6〕・〔資料7〕からわかることをまとめました。

2人がまとめた内容について、正しいものを次のア～エより1つ選び、記号で答えましょう。

○たろうさん  
〔資料6〕を見ると、日本では、工場などの産業部門からの二酸化炭素排出量が最も多いです。2番目に排出量が多いのは、車や鉄道や航空機などの運輸部門です。この産業部門と運輸部門を合わせると、総排出量の半分以上になります。

○さくらさん  
〔資料7〕を見ると、1980年に多くの二酸化炭素を排出していたのはヨーロッパや北アメリカでした。1980年とくらべると、2013年の全体の二酸化炭素の排出量は増加しましたが、ヨーロッパと北アメリカからの排出量は、ともに減少しています。

- ア たろうさんが正しく、さくらさんがまちがっている。
- イ さくらさんが正しく、たろうさんがまちがっている。
- ウ 2人とも正しい。
- エ 2人ともまちがっている。

- (4) [資料8] は京都議定書とパリ協定の主な内容の一部で, 対象国や義務に大きな変更がありました。パリ協定では, なぜこのような変更をおこなったのでしょうか。[会話文3] と [資料5] ~ [資料8] から考えられることを書きましょう。

[資料8] 京都議定書とパリ協定の内容

京都議定書		パリ協定
1997年	採択年	2015年
2020年まで	対象期間	2020年以降
38カ国・地域	対象国	196カ国・地域
先進国は排出削減目標値を達成する義務があり, 達成できなければ罰則。 発展途上国には排出削減の義務なし。	義務	発展途上国をふくめた全ての国を対象に排出削減目標値の策定, 報告, 見直しを義務付け。

〔会話文4〕

先生 「地球温暖化以外にも、私たちは様々な地球環境問題に直面しています。みなさんはどのような地球環境問題に関心がありますか？」

さくら 「私はエネルギー問題が気になります。昨年の夏は企業や家庭への節電要請が出ていましたし、電力などのエネルギー問題は私たちの生活とも深く関わっていると思うからです。」

たろう 「私たちが消費しているエネルギーはどのようにつくられているのですか？」

先生 「エネルギーをつくるための資源として、世界で最も多く使われているのは石炭、石油、天然ガスなどの化石燃料で、世界のエネルギー消費量の8割以上をしめます。これらを使った発電方法を火力発電といいます。」

さくら 「日本のエネルギー供給の割合の推移をまとめた〔資料9〕を見つけました。日本も世界と同様に、石油や石炭や天然ガスの割合が多いですね。」

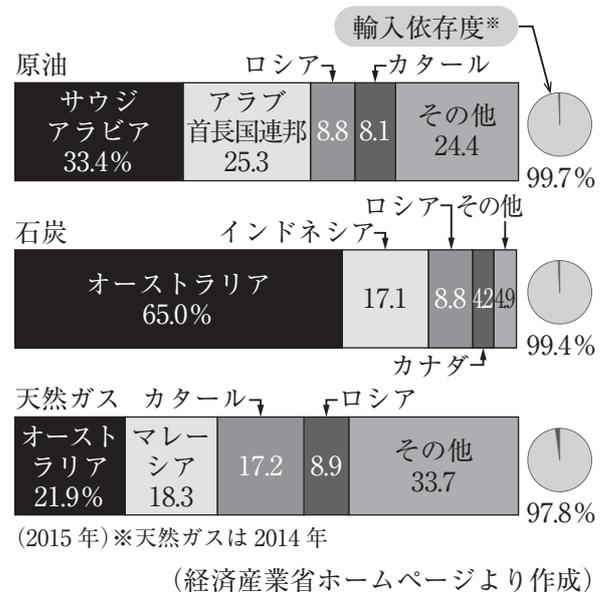
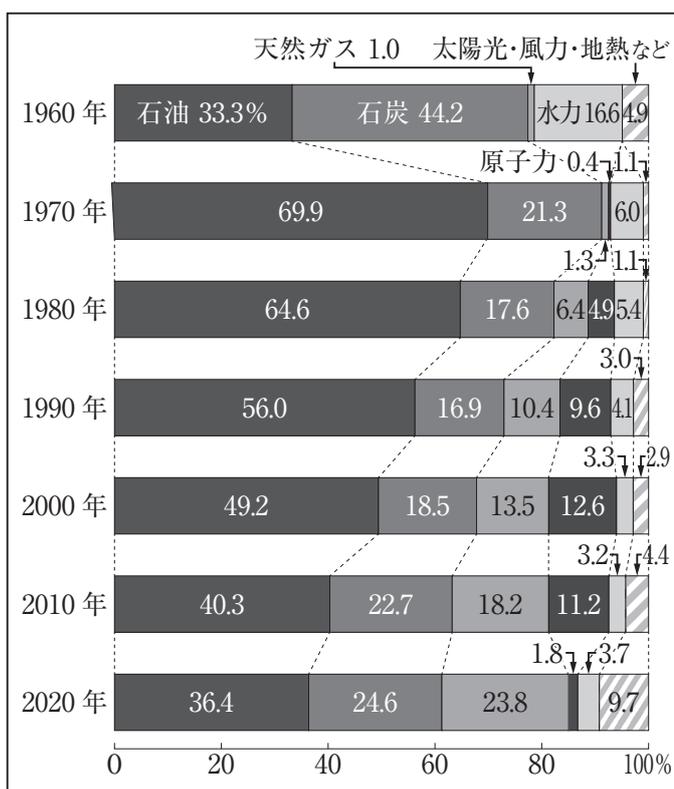
先生 「その通りです。しかし、こうした④日本のエネルギー政策には課題もあるとされています。」

はやし 「日本のエネルギー政策のあり方について、私たちもしっかりと考えていかないといけませんね。」

先生 「そうですね。⑤2021年に発表された国の『エネルギー基本計画』では、2030年までに様々な発電方法を組み合わせることで、発電に必要な資源の自給率をあげつつ、温室効果ガスの排出量を削減し、長期的に安定したエネルギー供給を実現することを目標とする政策が示されました。」

たろう 「エネルギー問題と温室効果ガスの削減もつながっているのですね。持続可能な社会のために、どのようなエネルギー政策をとるべきなのか、私たちも考えてみようと思います。」

〔資料9〕日本のエネルギー供給の割合の推移と、資源の輸入先



(5) [会話文4]の下線部④について、日本のエネルギー政策にはどのような課題があるのでしょうか。[資料9]を参考にしながら説明しましょう。

(6) [会話文4]の下線部⑤について、下の問いに答えましょう。

I あなたが日本のエネルギー政策の担当者になった場合、『エネルギー基本計画』の目標を達成するために、エネルギー供給の割合をどのようにすることを提案しますか。[資料9]・[資料10]を参考にしながら、解答用紙のグラフに発電方法ごとの割合を記入しましょう。

- 「火力」,「原子力」,「水力」,「再生可能エネルギー」をすべて使用すること。
- グラフには、発電方法と割合をそれぞれ記入すること。
- 割合は整数で記入し、合計で100%とすること。

II Iでその割合を決めた理由を、120字以上150字以内で書きましょう。

[資料10] 主な発電方法の利点と課題

	利点	課題
火力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天候の影響を受けずに、安定的に発電できる。</li> <li>・電気の消費地である都市部の近くに発電所を建設しやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発電時に、温室効果ガスを大量に排出する。</li> <li>・資源の大半を海外に依存している。</li> </ul>
原子力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少ない燃料で、多くの発電量を確保できる。</li> <li>・発電時に、温室効果ガスを排出しない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放射性廃棄物の処理が困難で、事故発生時の被害が大きい。</li> <li>・立地が海沿いに限定されるため、発電所を多く建設することができない。</li> </ul>
水力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源枯渇のおそれがなく、国内で確保できる。</li> <li>・発電時に、温室効果ガスを排出しない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電力供給が、降水量に左右されやすい。</li> <li>・立地が河川上流に限定されるため、発電所を多く建設することができない。</li> </ul>
再生可能エネルギー (太陽光, 風力, 地熱など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源枯渇のおそれがなく、国内で確保できる。</li> <li>・発電時に、温室効果ガスを排出しない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の発電方法とくらべて、発電費用が高い。</li> <li>・天候や時間帯によって、発電量が大きく変わる。</li> </ul>

下の欄には  
記入しない

受験番号	氏名

1

(1)

1

(1)

(2)

I ア	イ
II	

(2)

(3)

I	年間降雪日数	・	年間晴れ日数
II			

(3)

(4)

I
II

下の欄には  
記入しない

(4)

(5)

(5)

